

たかのす

昭和44年5月14日 第3種郵便物認可 (1部16円)

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

11月30日現在	(前月比)
総人口	25,499人
男	12,491人
女	13,008人
世帯数	7,079世帯
	(96人減)
	(45人減)
	(51人減)
	(14世帯減)

■編集と発行 鷹巣町役場総務課広報係



県内初の全天候型陸上競技場

5月下旬には完成

No. 431

55・5・1

昨年の7月から、鷹巣中学校陸上競技場隣接地を拡幅、造成していた、県内初の全天候型陸上競技場（一周4百㍍）は、雪消えとともに工事は急ピッチですすみ、5月下旬には完成の見込みです。

同競技場のこけら落としは、6月6日から4日間、全県高校総合体育大会が行われるほか、7月には全県中学校陸上競技大会も開催されます。



藤株遺跡

本格的な 発掘調査始まる

県文化課では昨年の九月に調査した際も、土器や石器が発見されていますが、この遺跡周辺が国道一〇五号鷹巣バイパスが通ることによるため、工事前に本格的の調査を行うことになりました。

調査範囲は約八千平方メートルに及ぶ大がかりなもので、県文化課の高橋忠彦文化財主事、富樫恭時学芸主事をスタッフに、発掘費用はおよそ四千万円が見込まれています。

県教育文化課では、藤株遺跡にある「藤株遺跡」の本格的な発掘調査を四月二十四日から九月三十日まで、延べ百二十日間にわたって行うことになりました。

藤株遺跡は、昭和四年東北大学生喜田真吉博士（故人）が初めて発掘調査を試み、その時は敷石のある繩文時代後期から同時期にかけての住居跡や土器石器、遮光器具などが発見され、考古学上大きくな手がありました。

なお、調査結果は来年四月頃までにまとめたいとしています。最近、県内で行われたこの種の調査

でもかなり大がかりなものだけに、調査結果が注目されます。

●
社教委員など委嘱

環境整備着々進む 都市公園整備事業で

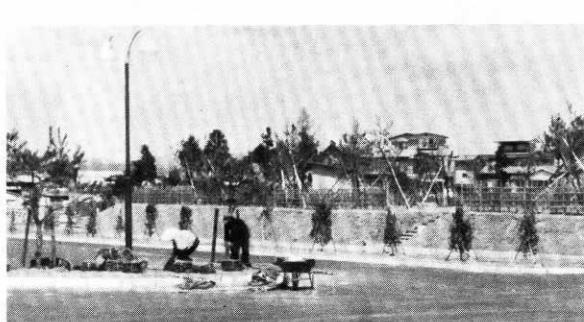
都 市 公 園 整 備 事 業 で

〔社会教育委員〕

△学校長 中島修三 △社会教育団体 三沢博隆 中島喜代 上遠野雅彦 桜田専藏 成田ケイ △学識経験者 相馬文夫 堀内由蔵 北島洋子 高橋文爾

〔文化財保護審議委員〕

二階堂善三 武内正俊 村上薰 小塚嘉七 中島静子 成田洋子 山田耕三 篠内勲 山内教郎 松橋栄信 渡辺勝蔵 笹原一 松尾和一 相馬瑞郎 神成武義 照内捷二



昭和五十二年度からの継続事業で、中央公園とその周辺を整備する「都市公園整備事業」は着々とすみ、五十四年度事業として実施していた修景施設や駐車場新設がこのほど完成、中央公園周辺は一段と整然となりました。

中央公園の都市公園整備事業は五十二年度から始まり、同年は公園の堤から国道一〇五号線までの水路三百七十メートルを一千七百万円で全面舗装。五十三年度は、公園下の町営野球場の隣接地に、四面（三千平方メートル）のテニスコートを二千五百円でそれぞれ完成しております。

五十四年度は、三千六百万円の予算で、テニスコートと国道一〇五号線とのあいだの空地四千二百七十二平方メートルに、修景施設として松、ケヤキの植栽と芝生張り、またスポーツや散策のあとなどにくつろげるようベンチを設置したほか、全面舗装の駐車場、園道法面保護工事（護岸）などが完成しました。

なお、五十五年度は六千二百万円の予算で、中央公園内の道路の整備をすすめ、町民の憩いの場としていくことしております。

特例納付制度は

国民年金の

六月三十日までです

一部を十二畳に拡幅し、六畳の車道と三畳の歩道を両側に設置して舗装。また、施設拡充のため用地取得などを計画しており、町では五十九年度までに年次計画で整備をすすめ、町民の憩いの場としていくことしております。

教育委員会では、四月一日付で社会教育委員、文化財保護審議委員、公民館運営審議委員を次のとおり委嘱しました。

任期は、いずれも五十七年三月三十日までの二年間。



各種大会目白押し

五十五年度中に、町で行われる
スポーツ行事が決まりました。

今年は、県内で初の全夫候型陸上競技場が完成することから、全

県高校と中学の陸上競技大会が当

町で開催されるのを始め、野球、

バレーボールなど各種大会が目白

押しです。

また、歩こう会や体力づくりの

ための講習会も計画されています

ので、生活のなかにスポーツをど

り入れる第一歩として、多くの人

の参加を望んでいます。

なお、五月から九月までの予定

は次のとおりですが、球技大会、

および講習会関係は鷹巣体育館、

野球は町営球場、陸上は新しくで

きるグランドが主な会場となります。

町内小学校交歓陸上

全県高校総体陸上競技

秋季職場野球大会

江戸時代

西暦年号

- △5・6日=全県中学校野球大会
- △12日=町内小学校バレー
- △12・13日=町内学童野球大会
- △13日=六人制クラブカップ産業
- △18・20日=全県中学陸上競技大
- △20日=町家庭バレー
- △27日=全日本大学選抜相撲大会
- △第十六回鷹巣杯全県テニス大会
- △子ども会キャンプ

郷土史年表

項

芭蕉が象潟に来た。「奥の細道」成

長崎兵助、永安寺を出世寺とす。

能代大地震、町家千二百軒崩壊。

青台の大飢饉・綴子村に施行小屋を

かけ求民す。

前山川上流にあった二本杉村(七戸)は、飢饉のため離散し、沢田家・畠山家は前山村に入る。

夏、米代川未曾有の大洪水・大向村荒廃す。

摩当堰出目高拂領、太田堰再工

宮野伊賢、勉学のため京都に行く。

(浅野良矩が吉良美央を殿中で傷害)

阿仁銅山、佐竹藩の直営になる。銅山奉行が支配。

洪水で成田村荒廃す。

三ツ屋村打直検地、分呂米六十三石。(赤穂義士、切腹)

能代大地震(野代といつてはいたが、この年から能代と改めた)

成田村起き返す。分呂米百九十一石(家十一軒)。

二月二十三日、富士山噴火す。

七月、米代川大洪水、山崩れねり込み、田破損す。

大向村、觀音堂を建立す。

今泉村打檢地、本田三十二石、新田

百四十七石。

この年の秋は大豊作。

阿仁銅山全盛、年産三百六十万斤と

概算品類村開発して七日市の支郷となる。

坊沢神明社社地より応永二十三年記銘の金銅造円鏡出工す。

般若院英泉王生れる。(次号に続く)

ゲットボール

北秋予選

- △12日=町内小学校バレー
- △12・13日=町内学童野球大会
- △13日=六人制クラブカップ産業
- △18・20日=全県中学陸上競技大
- △20日=町家庭バレー
- △27日=全日本大学選抜相撲大会
- △第十六回鷹巣杯全県テニス大会
- △子ども会キャンプ

上競技場が完成することから、全

県高校と中学の陸上競技大会が当

町で開催されるのを始め、野球、

バレーボールなど各種大会が目白

押しです。

また、歩こう会や体力づくりの

ための講習会も計画されています

ので、生活のなかにスポーツをど

り入れる第一歩として、多くの人

の参加を望んでいます。

なお、五月から九月までの予定

は次のとおりですが、球技大会、

および講習会関係は鷹巣体育館、

野球は町営球場、陸上は新しくで

きるグランドが主な会場となります。

第十八回町民体育祭

江戸時代

西暦年号

- △5・6日=全県中学校野球大会
- △12・13日=町内学童野球大会
- △13日=六人制クラブカップ産業
- △18・20日=全県中学陸上競技大
- △20日=町家庭バレー
- △27日=全日本大学選抜相撲大会
- △第十六回鷹巣杯全県テニス大会
- △子ども会キャンプ

ゲットボール

北秋予選

- △12日=町内小学校バレー
- △12・13日=町内学童野球大会
- △13日=六人制クラブカップ産業
- △18・20日=全県中学陸上競技大
- △20日=町家庭バレー
- △27日=全日本大学選抜相撲大会
- △第十六回鷹巣杯全県テニス大会
- △子ども会キャンプ

上競技場が完成することから、全

県高校と中学の陸上競技大会が当

町で開催されるのを始め、野球、

バレーボールなど各種大会が目白

押しです。

また、歩こう会や体力づくりの

ための講習会も計画されています

ので、生活のなかにスポーツをど

り入れる第一歩として、多くの人

の参加を望んでいます。

なお、五月から九月までの予定

は次のとおりですが、球技大会、

および講習会関係は鷹巣体育館、

野球は町営球場、陸上は新しくで

きるグランドが主な会場となります。

第十八回町民体育祭

江戸時代

西暦年号

- △5・6日=全県中学校野球大会
- △12・13日=町内学童野球大会
- △13日=六人制クラブカップ産業
- △18・20日=全県中学陸上競技大
- △20日=町家庭バレー
- △27日=全日本大学選抜相撲大会
- △第十六回鷹巣杯全県テニス大会
- △子ども会キャンプ

ゲットボール

北秋予選

- △12日=町内小学校バレー
- △12・13日=町内学童野球大会
- △13日=六人制クラブカップ産業
- △18・20日=全県中学陸上競技大
- △20日=町家庭バレー
- △27日=全日本大学選抜相撲大会
- △第十六回鷹巣杯全県テニス大会
- △子ども会キャンプ

上競技場が完成することから、全

県高校と中学の陸上競技大会が当

町で開催されるのを始め、野球、

バレーボールなど各種大会が目白

押しです。

また、歩こう会や体力づくりの

ための講習会も計画されています

ので、生活のなかにスポーツをど

り入れる第一歩として、多くの人

の参加を望んでいます。

なお、五月から九月までの予定

は次のとおりですが、球技大会、

および講習会関係は鷹巣体育館、

野球は町営球場、陸上は新しくで

きるグランドが主な会場となります。

第十八回町民体育祭

江戸時代

西暦年号

- △5・6日=全県中学校野球大会
- △12・13日=町内学童野球大会
- △13日=六人制クラブカップ産業
- △18・20日=全県中学陸上競技大
- △20日=町家庭バレー
- △27日=全日本大学選抜相撲大会
- △第十六回鷹巣杯全県テニス大会
- △子ども会キャンプ

ゲットボール

北秋予選

- △12日=町内小学校バレー
- △12・13日=町内学童野球大会
- △13日=六人制クラブカップ産業
- △18・20日=全県中学陸上競技大
- △20日=町家庭バレー
- △27日=全日本大学選抜相撲大会
- △第十六回鷹巣杯全県テニス大会
- △子ども会キャンプ

上競技場が完成することから、全

県高校と中学の陸上競技大会が当

町で開催されるのを始め、野球、

バレーボールなど各種大会が目白

押しです。

また、歩こう会や体力づくりの

ための講習会も計画されています

ので、生活のなかにスポーツをど

り入れる第一歩として、多くの人

の参加を望んでいます。

なお、五月から九月までの予定

は次のとおりですが、球技大会、

および講習会関係は鷹巣体育館、

野球は町営球場、陸上は新しくで

きるグランドが主な会場となります。

第十八回町民体育祭

江戸時代

西暦年号

- △5・6日=全県中学校野球大会
- △12・13日=町内学童野球大会
- △13日=六人制クラブカップ産業
- △18・20日=全県中学陸上競技大
- △20日=町家庭バレー
- △27日=全日本大学選抜相撲大会
- △第十六回鷹巣杯全県テニス大会
- △子ども会キャンプ

ゲットボール

北秋予選

- △12日=町内小学校バレー
- △12・13日=町内学童野球大会
- △13日=六人制クラブカップ産業
- △18・20日=全県中学陸上競技大
- △20日=町家庭バレー
- △27日=全日本大学選抜相撲大会
- △第十六回鷹巣杯全県テニス大会
- △子ども会キャンプ

上競技場が完成することから、全

県高校と中学の陸上競技大会が当

町で開催されるのを始め、野球、

バレーボールなど各種大会が目白

押しです。

また、歩こう会や体力づくりの

ための講習会も計画されています

ので、生活のなかにスポーツをど

り入れる第一歩として、多くの人

の参加を望んでいます。

なお、五月から九月までの予定

は次のとおりですが、球技大会、

および講習会関係は鷹巣体育館、

野球は町営球場、陸上は新しくで

きるグランドが主な会場となります。

第十八回町民体育祭

江戸時代

西暦年号

- △5・6日=全県中学校野球大会
- △12・13日=町内学童野球大会
- △13日=六人制クラブカップ産業
- △18・20日=全県中学陸上競技大
- △20日=町家庭バレー
- △27日=全日本大学選抜相撲大会
- △第十六回鷹巣杯全県テニス大会
- △子ども会キャンプ

ゲットボール

北秋予選

- △12日=町内小学校バレー
- △12・13日=町内学童野球大会
- △13日=六人制クラブカップ産業
- △18・20日=全県中学陸上競技大
- △20日=町家庭バレー
- △27日=全日本大学選抜相撲大会
- △第十六回鷹巣杯全県テニス大会
- △子ども会キャンプ

上競技場が完成することから、全

県高校と中学の陸上競技大会が当

町で開催されるのを始め、野球、

バレーボールなど各種大会が目白

押しです。

また、歩こう会や体力づくりの

ための講習会も計画されています

ので、生活のなかにスポーツをど

り入れる第一歩として、多くの人

の参加を望んでいます。

なお、五月から九月までの予定

は次のとおりですが、球技大会、

および講習会関係は鷹巣体育館、

野球は町営球場、陸上は新しくで

きるグランドが主な会場となります。

第十八回町民体育祭

江戸時代

西暦年号

- △5・6日=全県中学校野球大会
- △12・13日=町内学童野球大会
- △13日=六人制クラブカップ産業
- △18・20日=全県中学陸上競技大
- △20日=町家庭バレー
- △27日=全日本大学選抜相撲大会
- △第十六回鷹巣杯全県テニス大会
- △子ども会キャンプ

ゲットボール

北秋予選

- △12日=町内小学校バレー
- △12・13日=町内学童野球大会
- △13日=六人制クラブカップ産業
- △18・20日=全県中学陸上競技大
- △20日=町家庭バレー
- △27日=全日本大学選抜相撲大会
- △第十六回鷹巣杯全県テニス大会
- △子ども会キャンプ

上競技場が完成することから、全

県高校と中学の陸上競技大会が当

町で開催されるのを始め、野球、

バレーボールなど各種大会が目白

押しです。

また、歩こう会や体力づくりの

ための講習会も計画されています

ので、生活のなかにスポーツをど

り入れる第一歩として、多くの人

の参加を望んでいます。

なお、五月から九月までの予定

は次のとおりですが、球技大会、

および講習会関係は鷹巣体育館、

野球は町営球場、陸上は新しくで

きるグランドが主な会場となります。

第十八回町民体育祭

江戸時代

西暦年号

- △5・6日=全県中学校野球大会
- △12・13日=町内学童野球大会
- △13日=六人制クラブカップ産業
- △18・20日=全県中学陸上競技大
- △20日=町家庭バレー
- △27日=全日本大学選抜相撲大会
- △第十六回鷹巣杯全県テニス大会
- △子ども会キャンプ

ゲットボール

北秋予選

- △12日=町内小学校バレー
- △12・13日=町内学童野球大会
- △13日=六人制クラブカップ産業
- △18・20日=全県中学陸上競技大
- △20日=町家庭バレー
- △27日=全日本大学選抜相撲大会
- △第十六回鷹巣杯全県テニス大会
- △子ども会キャンプ

上競技場が完成することから、全

県高校と中学の陸上競技大会が当

町で開催されるのを始め、野球、

バレーボールなど各種大会が目白

押しです。

また、歩こう会や体力づくりの

ための講習会も計画されています

ので、生活のなかにスポーツをど

り入れる第一歩として、多くの人

の参加を望んでいます。

なお、五月から九月までの予定

は次のとおりですが、球技大会、

および講習会関係は鷹巣体育館、

野球は町営球場、陸上は新しくで

きるグランドが主な会場となります。

第十八回町民体育祭

江戸時代

西暦年号

- △5・6日=全県中学校野球大会
- △12・13日=町内学童野球大会
- △13日=六人制クラブカップ産業

初日は無料開放
ブルオーブン!!

勤労者体育センター（ラール）を、五月十日午後一時からオープ
ンします。

標語は、「侵入盗の防止」をテーマとしたもので、普通はがきに一標語（自作未発表のもの）。枚数は制限がありません。

技能検定試験

体育館利用の申し込みはお早めに!!

審査は、一船の音と児童の生徒の部の二部門。

△実施職種 造園 機械加工 左
官、木工、塗装など。
▽試験日 ①美技 ॥ 六月二十七日
②学科 ॥ 九月二十八日 (問題公表は六
月十六日) ③九月十四日

日本育英奨学金貸与会

日本育英会では、経済的理由のため学資に不足を生じて いる方に、奨学金の貸与をしています。

ご利用の場合は、使用日の三ヵ月前から受け付けを行っています。使用願は体育館に備え付けてありますので、利用目的等ご記入のうえ申し込みください。

また、職場、クラブチーム、地域サークル等、個人でも大いに体育館をご利用ください。利用時間は、午前九時から午後十時まで。利用の際は、内ズックを持参してください。

防犯運動の標語と シンボルマーク募集

県警察本部と県防犯組合連合会は、防犯運動の一環として五月一日から三十一日までの一ヶ月間、防犯運動標語と防犯シンボルマークを募集いたします。。

希望者は、在学する学校に出願の旨を申し出て、推薦を受けてください。

作品は、東京都文部局区内、總理府統計局調査部國勢統計課に、五月十日（当日消印有効）まで。入選者には、賞金や賞品が贈られます。

國勢調查標語募集

「母の日」といふのは三月か
と思つていたら、いつの間にか
五月に引つ越しちやつたんだね
え」
とは、ある年輩の“母”的弁。
母の日は五月の第二日曜日で、
今年は五月十一日にあたります
が、たしかに戦前は三月六日
の皇后誕生日（地久節といつて
いた）を母の日としていたよう
です。

アメリカである女性が、母のゆ
憶のために教会でカーネーシ
ンを配つたのが起こりといわ
ています。その後一九一四年
（大正三年）に、アメリカの議
が五月の第二日曜日を母の日、
きめ、母の恩に感謝の気持ちを
表すことになりました。ちなみ
に、六月の第三日曜日の父の日
は、それからおくれること二
年、一九三六年（昭和十一年）
に、『全米父の日委員会』ができ
てから普及し始めたようです。

あるデパートでは「母の日のプレゼントを買いに来るのは三四十代の方が多く、ヤングは意外に少ないですね」と話しています。

A black and white line drawing of a flower head, likely a composite flower, showing numerous small, sharp, triangular bracts or florets arranged in a circular pattern.



母の田

日本でもアメリカと同じように、五月の第二日曜日を母の日として行事を行うようになったのは戦後で、父の日が知られるようになつたのも、それ以後のことです。

在宅老人との旅行(ボランティア)



期講座(英語会話、陶芸等七講座)および自主運営講座(日本画等十講座)の募集を行いましたが、その他、いま町内で活躍をしている多くの学習団体、グループを簡単に紹介いたします。

一生を通じて打ち込める目標なり、趣味なりを持つことは、きっとその人の人生を豊かにすることでしょう。学びの輪を大きく広げ、うるおいの心、豊かな心を結び合いたいのです。

「楽しく学ぶ心」は明かるい次代の建設につながります!!

自らすすんで、気軽に参加いたしましょう。

学習団体・グループの紹介

みなさんの参加を
歓迎します



鷺巣絵画クラブ大館展(三月)

各団体・グループ	学習日・例会等・場所	連絡・申し込み先	各団体・グループ	学習日・例会等・場所	連絡・申し込み先
古典文学	毎月第2・4(金)午後1時30分より=公民館	杉浦けみ(2-2735)	鷺巣町盆栽愛好会	日時不定	河田三之丞(2-0276)
鷺巣地方史研究会	研究会年3回=公民館	松橋栄信(2-0191)	手話サークル「みずたまり」	毎週(木)午後6時30分より=公民館	大川千尋(2-3164)
鷺巣町読書会	毎月1回(日時不定)=図書館	松尾昭利(2-2437)	鷺巣ボランティア	毎週(金)午後6時より=公民館	中林三千夫(6-2234)
鷺巣短歌会	毎月第2(日)午後1時より=公民館	佐藤八千代(2-1421)	婦人ボランティア	毎月第1(木)午後7時より=公民館	佐藤タマエ(2-0841)
潮音秋田短歌会	毎月第3(日)午後1時30分より=公民館	石川多吉郎(2-0979)	サークルパリババ(施設青年ボランティア)	毎週(木)午後6時30分より=公民館	中林三千夫(6-2234)
鷺巣俳句会	毎月1回(日時不定)=公民館	五代儀幹雄(2-0316)	灯台クラブ(技術職業ボランティア)	日時不定	日景勝正(2-4506)
鷺巣書道同好会	毎月6の付く日午後7時より=伊藤静夫宅(北小路)	伊藤静夫(2-2448)	フータロクラブ(青年グループ)	日時不定	田村邦三(2-2810)
鷺巣絵画クラブ(油絵主体)	毎月第1(水・木)第3(水)午後7時より=公民館	成田正宏(公民館)(2-1130)	鷺巣混声合唱団	毎週(木)午後7時より=公民館	松尾昭利(2-2437)
鷺巣フォートグループ	研究会年3回	千秋軒カメラ(2-0770)	鷺巣室内合唱団	毎週(金)午後7時より=公民館	松尾昭利(2-2437)
日本リアリズム写真集団鷺巣支部	年2回写真展 例会随時	村上信夫(2-9526)	ニューハンマーズ(技能組合)	毎週(月)午後7時30分より=公民館	川村豊(2-0423)
木目込人形教室	日時・場所不定	三沢愛(2-3936)	鷺巣民謡三味線尺八研究会	毎週(火)午後2時と7時より=大栄商事	藤島茂治(2-0202)
色紙人形教室	随時=成田明子宅	成田明子(2-0536)	鷺巣吟修会(詩吟)	毎月第1、第3(土)午後1時より=公民館	小笠原吉郎(2-2532)
県北愛石会	展覧会年2回 探石会年1回	津谷佳男(2-1636)	演劇	毎週(木)午後7時より=公民館	三沢守一(2-9147)
囲碁同好会	毎週(日)午後2時より=鷺巣女子専門学校	成田達雄(2-1615)	社交ダンス	毎週(金)午後7時より=公民館	成田弘和(2-0237)
鷺巣将棋クラブ	毎月20日午後7時より=鷺巣小学校	近藤与治助(2-2405)	フォークダンス協会	5月より週1回 日時未定	佐藤周治(2-0196)

カメラ・ルポ

カメラ・ルポ

カメラ・ルポ

『電話局前にお天気ガイド』

八時間後の天気を予報

鷹巣電報電話局前に、八時間後の天気予報が一日でわかる「お天気ガイド装置」がお目見得し、命中率が高いことから、足を運ぶ人が多くなっています。この装置は、気圧の変化をキャッチして八時間後の空模様を予報するもので、ガイド板には△晴れ △くもり・時々晴れ △時々晴れ △雨の四つの図が並び八時間後の天気図にランプが点灯して、予報する仕組みになっているものです。



町交通安全協会、警察、交通対策協議会などが主催する「交通安全仮装行列」が、四月十三日午後二時三十分から一時間半にわたり町内の目抜き通りをねり歩き、沿道の住民から盛んな拍手がおくられました。この仮装行列は、交通事故撲滅に役立てようと開いたもので、参加したのは各協会支部、事務所、学校など十チーム。各チームとも無事故を願う奇抜なアイデアで、見る人の目を楽しませてくれましたが、審査の結果は、一位が農林高校、二位建設技能組合、三位は成田石油と第三支部でした。

交通安全仮装行列

『奇抜なアイデイアで』



県手話研究会の総会が、四月十三日午前十時から鷹巣公民館に、全県から三十人の代表が出席して開かれ、本年度の活動方針などについて話し合いました。話し合いの中で、昨年の衆議院選で秋田市と横手市の立候補説明会で手話通訳を行ったが、ことし六月に予定されている参議院選ではもっと増やしていくよう努力することにしました。

なお、当町の手話サークルみずたまり（大川千尋代表・会員十八人）では、毎週木曜日午後七時から鷹巣公民館で学習会を開いていますが、会では、もっと活動の輪を広げていきたいと張り切っています。

活動の輪を広げる

『県手話研究会で総会』

未来をめざして 現実に学ぶ

公民館の活動



自分達の生活は自分達で守り、正しい方向に育ててゆくことが自治能力であり、そのためには、自治組織の体質の改善をも考えなければならない。

地域ぐるみ活動

以上三つのことを、公民館活動のすすむべき方向の重点とする。P.T.A.や、婦人グループが、それぞれの立場から青少年教育や生活合理化運動に努力しているが、それがみんなのものになっているかどうか。無理解があつたり、反発がないかどうか。

「親子花だん」「あいさつ運動」「おでつたい運動」「冠婚葬祭の申し合わせ」などが、地域ぐるみの実践になるようにしなければいけない。

自主学習であること

趣味を追う講座でも、課題解決の学級でも自分の生活を高めるため、自分で学ぶことが生涯教育であり、その手助けをするのが社会教育行政の役目である。自ら学ばんとする者はいつまでも補助に頼るのでなく、自らの力で歩むことを常に心してゆくようになりたい。

底辺拡大・質的向上

町に学習する人が多くなれば生

た。

上町から沢一つへたてた西方

綾子川向いに刑部岱(ギョウブ

タイ)という地がある。今は林

になっているが、ここが綾子発

祥の地で、正平年間(一二五七)

に高橋光透が南部一閑からこ

とおして、未来を担う青少年教育

を告えたい。幼児から青年に至る

それぞの成長の時期に、そびや、自然に親しむことなど、ふさわしい生活が与えられているかを

生活合理化を

消費生活に無駄や無理がないか。生活全般の見直しが必要な時代になつた。特に年々豪華版にエスカレートしつつある冠婚葬祭のあり方については、自らしくし簡素で心のこもったものに改めなければいけない。

自治公民館

未来を展望し、現実を注視する時、そこに多くの問題を発見し、共同で解決しなければいけない課題が明らかになる。

集落や町内に住む人々が、お互

いに語り合い知恵を出し合つて申

し合わせたことを実行に移していくことが自治公民館活動である。

青少年教育

鷹巣町公民館は、昭和五十五年度の社会教育計画にもとづきながら、重点目標として三つの視点を出した。

第一は、未来展望の青少年教育の充実。第二は現実注視で生活合理化推進。第三は、部落(町内)自治公民館活動との相互学習の奨励援助である。未来を展望し現実から課題を見つけ、相互に学習を積み重ねていくことが公民館の進むべき道である。というのである。

綾子訪問

＝綾子上町＝

に移住し、永祿二年(一五五九)に現在地に移った。江戸時代の綾子は羽州街道上の重要な宿場町で、参勤交代途上の津軽候は今の大樂屋敷のあたりに「本陣」を構えて泊つた。豊作を祝う大行列は、上町・下町の若勢たちが太鼓の大きさを競つていてうちに、日本一になつてしまつたものである。と、

国道七号線と一〇五号線が交差する所。綾子は当町で最も古くから開けた大集落である。

日本書紀に「朧明天皇の御代(西歴六五九)阿部比羅夫が工

ゾ征伐のため百八十艘の水軍を引きつれ能代に上陸し、七座天

神を経て肉入籠(シシリコ)に至る」とある、そのシリコがツヅリコ(綾子)の地であろう。

と、「綾子村史」に書いてある。

神社、仏閣のまわりにできた高台の上町と、街道沿いに発達した下町とを合わせて昔は綾子本郷といつていた。上町は現在

九十八世帯ある。

四月十五日、宝勝寺住職秩父威仙氏を訪ねる。秩父氏は昭和二十年から二十二年にかけて綾子村長を、昭和三十年から九年

間、綾子公民館長をやられた方

で、歴史や思いなどを語ってくれた。

上町から沢一つへたてた西方

綾子川向いに刑部岱(ギョウブ

タイ)という地がある。今は林

になっているが、ここが綾子発

祥の地で、正平年間(一二五七)

に高橋光透が南部一閑からこ

(公民館長 長崎 久
久)



綾子公民館

